

21

工こう作さくで黄き色いろい紙かみを小こ刀がたなで切きった。

22

午ご前ぜんと午ご後ごで当とう番ばんを分わけた。

23

夜よる、寺てらの門もんを通とおるのはこわい。

24

秋あきの遠えん足そくは、問ま近ちかです。

25

話はなしを聞きいて古ふる里さとを思おもい出だす。

②1

工こう作さくで黄き色いろい紙かみを小こ刀がたなで切きった。

②2

午ご前ぜんと午ご後ごで当とう番ばんを分わけた。

②3

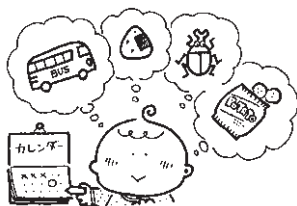
夜よる、寺てらの門もんを通とおるのはこわい。

②4

秋あきの遠えん足そくは、問ま近ぢかです。

②5

話はなしを聞きいて古ふる里さとを思おもい出だす。



②1
工 作 で 黄 色 い 紙 を 小 刀 で 切 っ た。

②2
午 前 と 午 後 で 当 番 を 分 け た。

②3
夜 、 寺 の 門 を 通 る の は こ わ い。

②4
秋 の 遠 足 は 、 間 近 です。

②5
話 を 聞 いて 古 里 を 思 い 出 す。

かん字の できかたを 読みましよう

刀

かたな トウ 木の刀 木刀

刀の形からできた字。



切

きる セツ 肉を切る 大切

七と刀を合わせた字。七の部分は切ったほねの形。

分

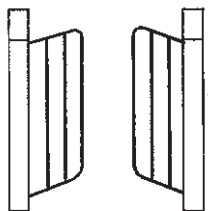
わける ブン フン ブ 切り分ける 気分 五分間 五分五分

八と刀を合わせた字。刀で物を二つに分けることから、「わける」という意味に使う。

門

モン 校門

両開きのとびらの形で、門を表す。かた開きは日戸で、戸。



間

あいだ まカン ケン 夏の間 昼間 時間 人間

元の字は「間」の形で、門十月。先ぞを祭る建物の門に肉をそなえて、門の内と外の間をあけること。

かん字の んしゅうを しましゅう

(答え ↓ 41 ページ)

21

こう

さく

で

き

いろ

い

かみ

を

こ

がたな

で

き

つ

た。

22

ご

ぜん

と

ご

ご

で

とう

ばん

を

わ

け

た。

23

よる

、

てら

の

もん

を

とお

る

のは

こ

わ

い。

24

あき

の

えん

そく

は、

ま

が

か

で

す。

25

はなし

を

き

い

て

ふる

さ

を

おも

い

だ

す。

かん字の れんしゅうを しましゅう

(答え↓41ページ)

②1
 こう
 工
 さく
 作
 で
 き
 いろ
 い
 かみ
 を
 こ
 がたな
 刀
 で
 き
 った。

②2
 ご
 午
 ぜん
 と
 ご
 午
 ご
 で
 とう
 当
 ばん
 を
 わ
 分
 けた。

②3
 よる
 、
 てら
 寺
 の
 もん
 門
 を
 とお
 るのはこわい。

②4
 あき
 の
 えん
 そく
 は、
 ま
 間
 ぢか
 近
 です。

②5
 はなし
 を
 き
 いて
 ふる
 古
 さと
 里
 を
 おも
 い
 だ
 す。

かん字を 書きましよう

(答え ↓ 41 ページ)

21

こう
さく
で
き
いろ
い
かみ
を
こ
がたな
で
き
った。

22

ご
ぜん
と
ご
ご
で
とう
ばん
を
わ
けた。

23

よる
、
てら
の
もん
を
とお
るのはこわい。

24

あき
の
えん
そく
は、
ま
ちか
です。

25

はなし
を
き
いて
ふる
さと
を
おも
い
だ
す。

かん字を 書きましよう

(答え↓41ページ)

21
 こう
 さく
 で
 き
 いろ
 い
 かみ
 を
 こ
 がたな
 で
 き
 った。

22
 ご
 ぜん
 と
 ご
 ご
 で
 とう
 ばん
 を
 わ
 けた。

23
 よる
 たら
 の
 もん
 を
 とお
 るのはこわい。

24
 あき
 の
 えん
 そく
 は、
 ま
 ぢか
 です。

25
 はなし
 を
 き
 いて
 ぶん
 さと
 を
 おも
 い
 だ
 す。